



みんなで
赤城山を
活性化しよう!

あなたにとっての「あかぎやま」はどんな場所ですか？

ここで生まれ育ち、人生がいつもあかぎやまと共にあった人、
一度離れ、再びあかぎやまに帰ってきた人、
縁があって、あかぎやまに引っ越してきた人…

それぞれの立場から、ここをどんな地域にしていきたいか、
エコツーリズムをきっかけに、一緒に考えてみたいと思っています。

赤城山エコツーリズム推進協議会 発足記念シンポジウム

2015 **2/21** (土) 13:00~15:00

入場無料

【会場】国立赤城青少年交流の家 (前橋市富士見町赤城山 27 / TEL027-289-7224)

【対象】赤城山の活性化に興味のある方 200名

【第1部】赤城山エコツーリズム推進準備会の報告

【第2部】赤城山のエコツーリズムを考えるシンポジウム

コーディネーター 石倉 利雪 (サンデン株式会社総務本部)

パネリスト 樺澤 豊 (わたらせ渓谷鐵道株式会社社長)

桜井 義維英 (前国立赤城青少年交流の家所長)

林 きみ代 (とんとん広場代表取締役社長)

栗原 久 (東京福祉大学教授)

伊能 友和 (良農園副代表・野菜ソムリエ)

下田 昭一 (前橋市観光課長)

【申込み】参加希望の方は、裏面の申込書に記入の上、FAXにてお申込みください。

☆エコツーリズムとは？

観光旅行者が、自然観光資源について知識を有する者から案内また助言を受け、自然観光資源の保護に配慮をしつつ、自然観光資源とふれあい、これに関する知識および理解を深めるための活動です。(2007年環境省制定 エコツーリズム推進法より)

現在、13のモデル地域があり、知床、白神、小笠原など「豊かな自然との取り組み」地域はその後、世界自然遺産になりました。また、「観光地からエコツーリズムに転換した」地域には、裏磐梯、富士山、六甲山などがあります。もう一つの分野が「里地里山など身近な自然、地域の産業や生活文化を活かした取り組み」でエコツーリズムを実践している地域もあります。

☆赤城山エコツーリズム推進協議会の発足まで

2004年、前橋市は環境都市宣言をしている中、赤城山とその周辺を環境に配慮した”ひと、もの、まちづくり”を思う有志が集い、検討を重ね2010年にNPO法人赤城自然塾が設立されました。

同じころまでに、前橋市を中心に5自治体が広域合併し、赤城山の多くが前橋市になり、「前橋の宝」と位置づけられました。これを機に自然環境、歴史文化遺産を保全しつつ、自然を楽しむことのできる活用方法を検討してきた結果、『エコツーリズム』を推進することになり、以後検討会を7回、準備会を4回経て赤城山エコツーリズム推進協議会の設立に至りました。

FAX 027-289-7226(国立赤城青少年交流の家) 担当:杉浦

赤城山エコツーリズム推進協議会 「発足記念シンポジウム」参加申込用紙

※このままFAXしてください。

送り主FAX番号(- -)

お名前	1		男・女	居住地	市	町
//	2		男・女	居住地	市	町
//	3		男・女	居住地	市	町
//	4		男・女	居住地	市	町
//	5		男・女	居住地	市	町

注：1枚で5人まで記入できます。足りない場合は、コピーをして送信ください。

居住地は、「前橋市 富士見町」などにご記入ください。詳しい番地などは要りません。

※定員になり次第、締め切ります。

(満員また大雪など荒天で中止の場合は、送り主様までFAX連絡いたします。)

●交通

自家用車が便利です。お乗り合わせの上、係員の指定した場所に駐車をお願いします。

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、今回のシンポジウム参加人数の把握のみに使用させていただきます。

事業中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業に関する報告書や広報、ホームページに使用することがありますので、ご了承ください。

また、当日は報道関係者によるシンポジウムの写真撮影がございます。予めご承知おきください。

●お問い合わせ TEL027-289-7201 国立赤城青少年交流の家内エコツーリズム推進準備会事務局